

網野庁舎跡地活用構想(提言)

令和2年3月16日

網野町区長連絡協議会

< 基本構想 目次 >

○ 趣旨・経緯	 1
○ 跡地及び周辺図	 2
○ 検討の経過	 3～5

■ 提言内容

・ 現状認識	 6
・ 2年を超える議論の総括 ～コンセプト・基本方針～	 7
・ 検討アプローチ（項目別）	 8
・ エリアと施設の捉え方	 9
・ 住民がまちづくりに果たしていくスキーム	 10
・ 施設整備年度計画	 11
・ 市民交流広場 「スペースあみラボ」	 12～14
・ 市民交流センター 「コフーン」	 15
・ 「コフーン」の施設概要	 16
・ 「コフーン」の機能構成図	 17～18
・ あみラボ実行委員会の今後について	 19

網野庁舎跡地活用整備基本構想

趣 旨

昭和43年に竣工した旧網野町役場は、網野町の中心に位置し、網野町の核として多くの人から愛され、利用されました。

この跡地において、丹後ちりめんの産地として栄えた歴史的経緯やまちの将来像を踏まえつつ、地域の活性化に繋がる拠点施設を整備するための基本的な考え方を明らかにするものです。

経 緯

- S43. 6 網野町役場竣工
- H16. 4 京丹後市政スタート
- H29. 11 上下水道部が網野庁舎本館から丹後庁舎に移転
- H30. 2 網野町区長連絡協議会から市長に要望書（本庁機能を残すこと等）を提出
- H30. 3 商工観光部が網野庁舎別館からら・ぽーとに移転
- H30. 4 網野町区長連絡協議会から議会議長に要望書を提出
- H30. 4 網野町区長連絡協議会の内部に「庁舎・跡地検討チーム」を発足させる
- H30. 6 網野町区長連絡協議会が射水市役所視察（富山県）
- H30. 9 網野町区長連絡協議会が城崎国際アートセンター視察（豊岡市）
- H30. 12 「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみラボ（あみのみんなのスペース未来ラボ）を発足させる
- R 1. 6 網野町区長連絡協議会が一般社団法人青蓮寺・百合が丘市民センター視察（三重県名張市）
- R 1. 7 あみラボワークショップを開催（延4回）
- ？ **一般参加者延べ100名（高校生～90歳代まで）**
- R 1. 10
- R 1. 11 本館及び別館一部の解体工事開始
- R 2. 3 網野町区長連絡協議会が住民の声に耳を傾け、多くの意見を反映させた跡地活用整備基本構想をまとめる。
網野町区長連絡協議会が市長に提言書を提出
- R 2. 7 解体工事終了予定 ⇒ 約6000㎡がさら地に

旧網野庁舎本館



跡地及び周辺図

※ 別館も含め、
跡地として
みなした場合



検討の経過

＜網野町内では初の試み＞

網野の将来について考えるこの取組を契機とし、あみラボワークショップの開催など一連の活動が、まちづくりに主体的に関わる人材育成の場になるなど、単に議論を交わす場ではないものに成長してきています。

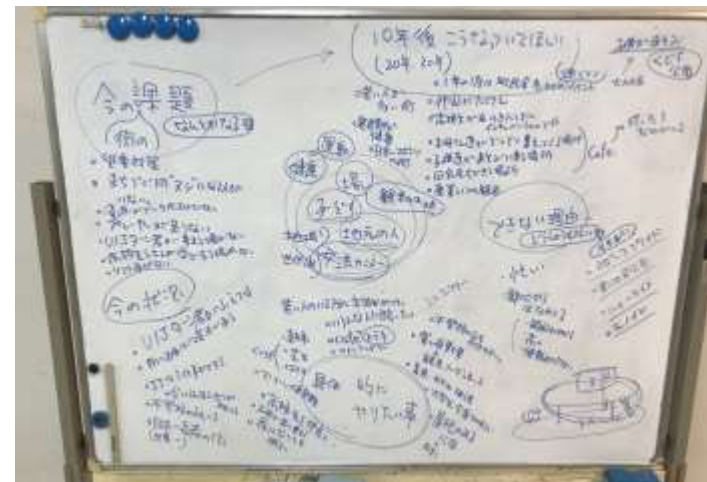
これまで、網野町内では、将来のまちづくりに関して世代を問わず、多くの老若男女が集い、網野町への想いについて議論を交わす機会がなかったことから、初の試みとなりました。

今後は、この活動を弾みとし、あみラボ実行委員会をさらに発展させ、引き続き、住民が主体的に関わるまちづくりの実践に向け、取り組みを進めます。

検討の経過

(1) 住民が参加するワークショップの準備

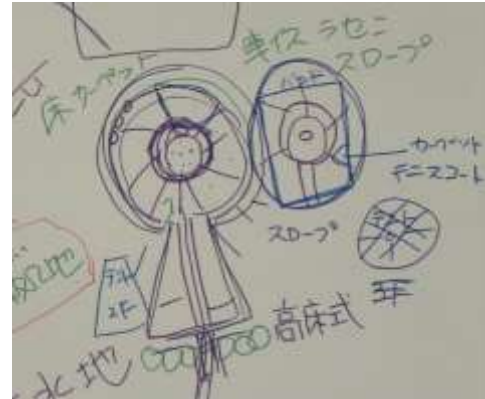
あみラボ実行委員会を延 16 回開催 ➡ 将来を語るエンジンルームに成長中



検討の経過

(2) 住民の声に耳を傾け、多くの声を拾う

あみラボワークショップを延4回開催 → 老若男女が集い、語らう場が拡大



一般参加者

延べ100名（高校生～90歳代まで）

※アンケート調査も実施

網野町区長連絡協議会での2年間に及ぶ協議 → 住民の声を聴き、まとめた



提言内容

網野庁舎跡地活用整備基本構想

現 状 認 識

対応が急務な

市の課題

- 1 つながりの希薄化（人口減、独居世帯増、核家族化、未婚率増、スマホの中毒化、団体スポーツの衰退）
- 2 若者の離町の進行（就きたい職業減、担い手不足、つながり・しきたりからの解放、都市部へのあこがれ）
- 3 市街地の空洞化（地価下落、大規模店の郊外出店、幼保小中高の再配置による通学・送迎の距離と負担増、空き地、空き家・空き店舗の増加、土地再利用の停滞）

その解決へ向けた

網野の強み

- 1 市街地の一等地の出現（網野庁舎本館解体による一等地の出現は土地再利用にとって千載一遇）
- 2 既存施設との相乗効果（金融、配送、地場産品販売、小規模店、医療機関、市役所・図書館・体育センター等）
- 3 都市機能を有すところ（域内・域外を結ぶ交通の拠点となる潜在機能を兼ね備えている立地であること）

京丹後市の「課題解決における公費負担の投資効果を最大限発揮できるエリア」である



計4回、延100名が参加し、跡地活用について議論を交わした「あみのみんなのスペース未来ラボ（通称:あみラボ）」でのワークショップ

網野庁舎跡地活用整備基本構想

2年を超える議論の総括

コンセプト

「繋がる」

① ひととひとが繋がっている



幼少期から、どれだけ、友達、仲間、家族と関わり合いを持って育ってきたか。

その積み重ねが、若者が故郷に帰る大きな原動力になる。

小さなふれあいが、郷土愛と支え合い（愛）を育むことに繋がる。



② まちとまちが繋がっている



町内の
各集落と

市内の
主要地と



市外の
主要地と

基本方針

コミュニケーションが生まれる場の創造

◎オープンなワクワクする交流広場

1. 地域がにぎやかになる空間
2. 老いも若きも集い語らえる空間
3. 子育てを応援する空間
4. まちの光を発信する空間

整備

・市民交流広場
「スペースあみラボ」

・市民交流センター
「コフーン」

③ ひととまちと歴史が繋がっている



銚子山古墳からの眺望と
網野の市街地周辺（昭和）



国指定史跡として公園整備が進む
網野銚子山古墳

網野庁舎跡地活用整備基本構想

検討アプローチ（項目別）

▽一体性

各種機能は、
周辺エリアを一体として
捉え、相互に補完し、
相乗効果を見出す。

▽地域性

網野神社、銚子山古墳
嶋児神社、離湖
八丁浜シーサイドパーク
琴引浜、夕日ヶ浦
子午線塔、磯街道
等の観光地等を巡る
「散策・サイクリング」
コースの拠点に。

▽機能性

- ・親子で遊べる
- ・雨の日でも遊べる
- ・夜でも明るい
- ・防災
- ・障害のある人も
- ・世代間交流ができる
- ・そこに行けば誰かがいる
- ・スポーツもできる（公園）
- ・観光の人も（交流人口）
- ・快適、衛生的
- ・ユニバーサルデザイン

▽環境性

- 環境に調和した施設づくり
- ・敷地内を積極的に緑化
 - ・建築物は木造
 - ・隣接空き工場を購入・解体
※廃屋化が進行中



エリアと施設の捉え方

市民交流広場のエリアの総称

：「**スペースあみラボ**」

＜住民の願い＞

地域の核となり、網野のにぎわいの起点として、
住民が育て、関わり続ける交流広場とする

＜名称の由来＞

まちづくりの**研究所 (Laboratory)** として、将来にわたり、住民自らが地域課題を解決するための実践を行うエリアと位置付ける

市民交流センターの施設の総称：**コフーン**

＜施設に対する住民の願い＞

明るい網野の未来を開き、
世代間交流を生み、まちづくりを進める交流施設

＜名称の由来＞

「コフーン」とは、「コクーン(繭)と古墳(墓)」とを合わせた造語。
繭は母親に宿った胎児を意味し、墓は人の死を意味することから、「コフーン」とは人の一生を表す言葉となり、全ての老若男女があまねく集う場所となることを願う施設である。また、繭は地場産業の絹織物・丹後ちりめんの象徴と言え、古墳は日本海側最大の前方後円墳で網野町のシンボリック存在である網野銚子山古墳をあらわすことから、「コフーン」は施設名としてふさわしい。

跡地一帯及び建物全体を
有効かつ機能的に
使用するための要望事項

- ①建設部及び付属する車庫の移転と取り壊し
- ②消防車庫の移転と取り壊し
(保健センター前の築山を撤去して移転)
- ③旧織物工場の敷地の購入



住民がまちづくりに責任を果たしていくスキーム

(現 実)

住民が
・まちづくりに無関心
・設計や企画面で関わる機会もない
・誰も旗振り役になりたがらない

↑
行政が頼み込んだ時は、
「何それ、興味ないよ」で
時すでに遅し

↓
**結果、何も生まれず、
継続性がなくなった上、
建物(ハード)だけが残るリスク大**

施 策

- ①あみラボ実行委員会の組織再編
企画・設計者等の追加募集
- ②地域づくりの専門家を招へい
議論から運営までの監督・指南

(理 想)

住民が
・まちづくりに関心を持ち
・設計や企画面で関わる機会があり
・旗振り役になりえる候補者が現れる

↑
行政が公募をかけた時は、
「ぜひ、関わりたいです」で
最適で熱量が高い旗振り役が現れる

↓
**結果、何か新しい動きが生じ、
継続性が保たれ、後継者育成につながった上、
住民サービスが向上し、活気にぎわう**

ギャップ

この乖離を
埋めるのは
施策



公費の
有効活用

- ③財源確保と公募型プロポーザルの実施
機会均等の確保は前提
- ④「スペースあみラボ」と「コフーン」
のコーディネーターの人材確保

議論→企画・設計→運営までの思いが、最後まで噛み合うとまちづくりのエンジンがまわる

施設整備年度計画

令和2年度 : ソフト機能の検討



令和3年度 : 基本計画策定



令和4年度 : 実施計画策定



令和5～6年度 : 工事実施



令和6年度末 : 工事竣工



令和7年度 : 施設オープン

「各種団体」×「あみラボ」×「行政」との協働まちづくり

①市内サークル、団体等と協議開始(4つの空間)

- 地域がにぎやかになる空間
- 老いも若きも集い語らえる空間

- 子育てを応援する空間
- まちの光を発信する空間

■市民交流広場「スペースあみラボ」

- ・屋根付き遊具
- ・3×3バスケットコート
- ・スポーツライミング施設
- ・緑化スペース(桜、紅葉)
- ・芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース
- ・駐車場
- ・駐輪場
- ・バスターミナル ほか

■市民交流センター「コフーン」

- ・老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース
- ・学習サポート
- ・IT活用
- ・イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- ・子育て応援、母親交流スペース
- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・乳幼児コーナー等
- ・銚子山古墳を望む展望台

②運営の体系的な整理

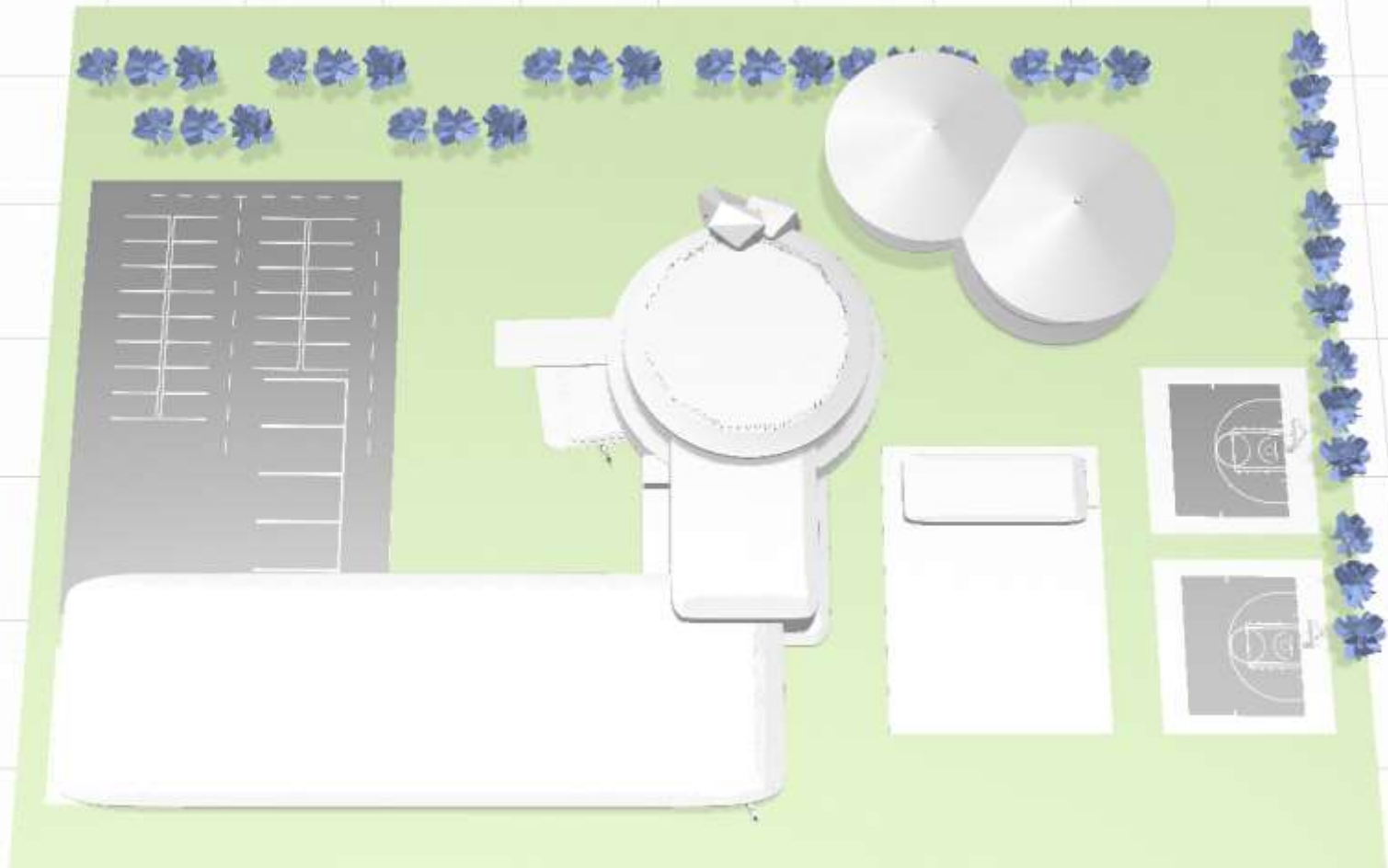
- 市としての施策の位置づけ
- 行政課題及び地域課題を解決するための協働方策
- 公費負担と受益者負担のあり方

③運営管理者の公募・選定

④運営開始

市民交流広場 「スペースあみラボ」

- ・交流広場「スペースあみラボ」
- ・交流センター「コフーン」 ※網野銚子山古墳の1/5サイズを再現
- ・屋根付き遊具、3×3バスケットコート、スポーツクライミング施設、
- ・緑化スペース(桜、紅葉)、芝生広場、ベンチ、夜間照明
- ・朝市スペース、駐車場、駐輪場、バスターミナルほか



市民交流広場 「スペースあみラボ」



市民交流広場 「スペースあみラボ」



市民交流センター「コフーン」

＜施設名称:コフーン＞



「コフーン」の施設概要

施設概要

- ・建物の平面形を前方後円墳の形とし、その規模は銚子山古墳(全長200m)の五分之一で計画する。
- ・木造一部2階建て(後円部側が2階、前方部側が1階)とする。
 - 1階は、イベントブース・交流スペース(学習サポート)・子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)・ITコーナー
管理事務室(ガイド待機場所)・
公募スペース(例:カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、布団が洗えるコインランドリー)・トイレ・階段・エレベーター
 - 2階は、音楽スタジオ・You Tubeスタジオ、絵画制作スペース・学習スペースのほか交流スペース
 - 屋上に銚子山を望む展望台を設置する。
 - 延床面積約1,200㎡
※なお、これらの活用については今後も市民からの意見を聴取し反映させていくもので、確定的なものではない。

ソフト機能

- 地域がにぎやかになる空間
老若男女だれでも使用できる交流スペース、カフェ等の公募スペース、学習サポート、IT活用
- 老いも若きも集い語らえる空間
イベントブース、音楽スタジオ、学習スペース、おしゃべりコーナー
- 子育てを応援する空間
子育て応援、母親交流スペース(プレイルーム、絵本コーナー、乳幼児コーナー等)
- まちの光を発信する空間
展望台から銚子山古墳を望む
街角観光の基地(電動自転車によるガイド案内) ※地域の文化や暮らしに入っていける観光
例:長寿を願う浦島太郎史跡巡り(銚子山・しわえのき・網野神社・嶋児神社・福島・六神社・こころの森美術館)

その他の課題

- 施設の管理運営については、隣接するあみの図書館、保健センター、アミティ丹後、体育館との緊密な連携を図るとともに、旧幼稚園の建物及び敷地の活用については今後も検討を行っていく。

「コフーン」の機能構成図(1F)

<建屋1F>

※モチーフ: 銚子山古墳(前方後円墳)

①イベントスペース(曜日、時間帯で利用対象者が変わる)

<対象:一般>

○屋内イベント活動

- ・ミニ教室の開催(趣味発見、生きがい発見)
- ・展示スペース
- ・その他

②交流スペース

<利用時間>

春・夏・冬休み期間
及び平日の夕方

<目的>

学習サポート

<対象:一般>

- 国際交流
- 語学交流
- 文化交流

③子育て応援

スペース

(絨毯)

- ・プレイルーム
- ・絵本コーナー
- ・お母さん達のおしゃべり交流相談コーナー

④母親交流スペース(絨毯)

- ・授乳室
- ・お昼寝ベッド

⑥ITコーナー

- ・プログラミング学習
- ・You Tube(ユーチューブ)スタジオ

⑦トイレ
(男・女)

⑩管理事務室
兼レンタルサイクル
ガイド待機場所

階段

入口

18m

14m

⑧公募
スペース

カフェ、駄菓子屋、ラーメン屋、
コインランドリーなど

⑨公募
スペース

(その他)
エレベーター

⑤憩いの広場

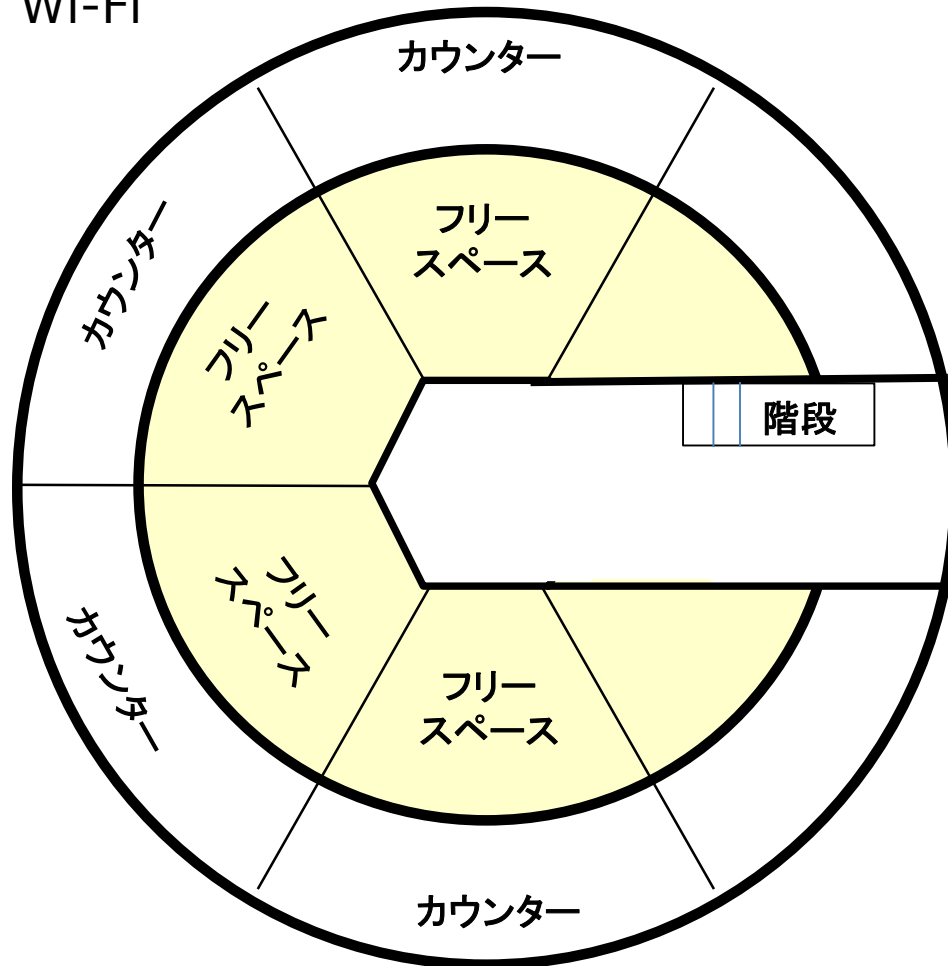
⑤憩いの広場
<対象:一般>
○休憩スペース

40m

「コフーン」の機能構成図(2F、屋上、屋外)

<建屋2F>

- ・フリースペース(可動式間仕切り)
音楽スタジオ、学習スペース等
- ・カウンター(充電コンセント付き)
- ・Free Wi-Fi



<建屋屋上>

- ・展望台(銚子山古墳を望む)

<屋外>

- ・屋根付き遊具・公園
- ・緑化(芝生、木、花)
- ・ベンチ
- ・夜間照明
- ・スポーツクライミング
- ・3×3(バスケ)コート
片面(2面)
- ・カフェ
- ・朝市
- ・駐輪場
- ・バスターミナル

あみラボ実行委員会の今後について

あみラボ実行委員会は、本構想の作成をもって終了するものではなく、施設の実施計画や完成後の施設運営についても検討していくこととして、新メンバーも加えた体制で継続して今後も開催していくこととする。

そのために、これまでと同様に市行政からの人的、経済的支援を要望します。